

令和2年度第1回 佐世保市総合計画審議会 会議要旨

【日 時】 令和3年2月19日(金) 13:30～15:30

【場 所】 佐世保市役所本庁舎4階 全員協議会室

会 次 第

1. 開会
2. 委員の委嘱
3. 市長挨拶
4. 委員紹介
5. 会長、副会長選出
6. 会長挨拶
7. 議題
 - (1) 佐世保市総合計画審議会の委員の役割・運営方針について
 - (2) 第7次佐世保市総合計画の概要説明について
 - (3) 第7次佐世保市総合計画へのご意見について（回答依頼）
8. 閉会

○出席委員 15名

欠席委員 2名

【資料】

- ・ 資料1 佐世保市総合計画審議会の委員の役割・今後の運営
- ・ 資料2 佐世保市総合計画の歴史
- ・ 資料3 第7次佐世保市総合計画の概要について
- ・ 資料4 第7次佐世保市総合計画へのご意見について

会議要旨

1. 開会

2. 委員の委嘱（委嘱状の交付）

3. 市長挨拶

4. 委員紹介

5. 会長、副会長選出

事務局提案のうえ、西岡会長、飯田副会長を選出。

6. 会長挨拶

佐世保市の行政全般を総括している最上位計画である総合計画について、本審議会において委員の皆さんと審議し、方向性について議論を重ねていきたい、との趣旨のご挨拶。

7. 議題

- (1) 佐世保市総合計画審議会の委員の役割・運営方針について
- (2) 第7次佐世保市総合計画の概要説明について
- (3) 第7次佐世保市総合計画へのご意見について（回答依頼）

～事務局より内容説明～

○以下、質疑応答

【西岡会長】

佐世保市まち・ひと・しごと総合戦略について、国や県にも同じように総合戦略があるが、これらはどういう流れの中で策定されることとなったのか。

【事務局】

まち・ひと・しごと総合戦略については、2008年（平成20年）に佐世保市だけではなく、我が国が人口減少に転じたところから始まっている。その要因としては、全国的な出生率の低下等があり、国としても東京圏への一極集中から地方への流れを大きく生み出すためにまち・ひと・しごと総合戦略が策定された。

それに基づいて長崎県の総合戦略、さらには佐世保市の総合戦略策定という流れになっており、佐世保市では平成27年10月に策定されている。

大きな流れとしては二つあるかと思う。

人口減少に対して、地方が元気にならなければいけない、その地方を応援するよう

な国の流れと、行政だけではなく、官民連携、産学官連携といったものを踏まえたものがこの総合戦略になっているという流れ。

【西岡会長】

佐世保市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、令和2年度からを計画期間とする第7次総合計画から総合計画の中に織り込まれているとの説明が先ほど事務局からあったが、総合戦略のK P I（重要業績評価指標）は以前から総合計画とは別に設定されていたのか。

【事務局】

平成27年10月に佐世保市まち・ひと・しごと総合戦略を策定した際にK P Iを設定している。第7次総合計画の中でもそのK P Iを引き継ぎ、若しくは新しいものに置き換えている。

【西岡会長】

K P Iとは、Key Performance Indicatorの略であり、単語の頭文字を取ったものである。キー（Key）となる鍵、パフォーマンス（Performance）である成果、インジケーター（Indicator）指標となる。

計画ばかりつくって、その後の成果をチェックする指標が無いということが問題になった時期があり、最近では政策目標を立てるときには必ずこのK P Iを設定するという流れになっており、1つ1つを年度ごとにチェックするための指標となっている。

【宮地委員】

基本構想の中で、社会の状態の好転を目指すターゲットとして、例えば「しごと」分野のところで“就職率を維持します”、「ひと」分野のところで“出生率を向上させます”などと掲げているが、主体としてどういったものをさし、今現在どれぐらいで、それをどのレベルで維持するのか、といった具体的な主体、数字等はどの資料で確認できるか。

【事務局】

例えば「就職率」について、「しごと」分野の政策の1つである企業立地政策を第7次総合計画の61ページに記載しているが、その社会指標という形で掲げている。政策の目指す方向性としては、平成30年度の現状値である45.6%を維持することとしている。

この「就職率」はどのようなものかということについては、177～188ページを確認してもらいたい。この部分にそれぞれの社会指標、K P Iの解説を載せている。

【横山委員】

基本構想や基本計画を作った際には無かった事案が出てきた場合、それを計画又は構想に追加するという事は有り得るのか。

例えば今月、政府で最重要法案と言われるデジタル化関連法案が国会に提出され、それは確実に成立する見通しである。またデジタルトランスフォーメーション（DX）によって行政をさらにグレードアップしていくという、これはかなり大きな変化になると思うが、こうした事案についてはどのように対応するのか。

【中島企画部長】

総合計画をはじめとした行政計画は中長期的な視点を持って策定するのが基本となっている。

ただ、大きな社会変革の中で、“基本構想”の目指す方向性、将来像が大きく変わってくるということになれば、この審議会の中でご審議いただき、議会へ提案した上で改定を行うこととなる。

なお、“基本計画”の方は議会の議決事項ではない。

行政運営の中で、その変革の部分が読み込める状況であれば、改定というものは当然有り、どれくらいの規模の改定が必要なのかというところは臨機応変に考えていくべきだが、基本計画や基本構想を決定したからといって、絶対にそれを変更できないという視点は持っていないということでご理解いただきたい。

【飯田副会長】

佐世保市に総合計画があるのと同じく、長崎県にも総合計画があるが、それには佐世保市を中心とした県北の気持ちが伝わっているのか、我が方の考え方が影響している部分があるのか。

【前川企画部副部長】

長崎県ではちょうど令和3年度から始まる総合計画を策定されているが、その中に県北地域の地域別計画という大きな項目が含まれている。

その策定にあたっては、長崎県の職員が県北市町全てを回ってヒアリングを行っており、我が方の考え方は反映されていると考えている。

【檜楨委員】

事務局だけでなく、委員の皆さんに対してもお願いしたいことが2点ある。

ひとつは、それぞれの分野の専門家の方が委員として来ておられるが、縦割りではなくオール佐世保という観点からできるだけ様々な分野への意見を出していただきたい。私自身ももちろん意見を出さないといけないと思っている。

もうひとつは、横山委員が言われたように、新しいことがどんどんやってくる。人口減少だけではなく、老朽化問題も含めてどんどんやってくる。

2、3年で変わってしまうところもあるわけで、そういう点では、ぜひ事務局と委員の両方が上手く力を合わせ、総合計画の推進を図っていただきたい。

【川原委員】

この佐世保市総合計画の中に教育行政計画といったものが入っていないようだ

が、別仕立てで計画があるのか。

総合計画と学校教育行政に関するものは全く別になるのか。

【事務局】

総合計画の172から176ページに主な分野別計画等の一覧表を掲載しており、172ページに佐世保市教育振興基本計画を掲載している。

総合計画はそれら分野別計画等の最上位計画という位置付けである。

よって、総合計画に掲げられた教育政策を、総合計画とリンクさせながら進めていくということになる。

【藤川委員】

今年度、GIGAスクール構想により小中学校にタブレット等が配布されている。

その結果がとてもインパクトが大きかった。

先ほど事務局からの資料説明の際、コロナの感染防止、経済対策事業ということでこのGIGAスクール構想があがっていたが、もともとこの教育政策の基本方針に則った計画ではなく、この度のコロナ感染症の状況を踏まえた緊急対策だったのか。

【中島企画部長】

もともとGIGAスクール構想の考え方自体は有ったが、今回のコロナ渦の中で、文科省が大幅に計画を前倒しし、コロナ対策の臨時交付金も充てられることとした。

よって、先ほどの事務局による資料説明時に、コロナ対策事業の1つとしてGIGAスクール構想を挙げていたことから、そのように見えてしまったもの。

【西岡会長】

本日は委員改選後の第1回ということあり、主に現計画の全体像の枠組みについて事務局より説明があった。大変丁寧な説明だったことから、委員の皆さんには概ね理解してもらえたのではないかと思う。

また、事務局説明の中で、資料4により委員の皆さんから総合計画に関するご意見を伺いたいとの依頼もあった。

これについては、後日事務局から改めて照会があるということなので、委員の皆さんは回答するようお願いしたい。

次回の審議会においてそれらの意見を事務局がとりまとめ、審議の対象とするとのことである。

また、本年度は、第7次総合計画の初年度であったため、次回の審議会、令和3年度の審議会ですべて初めて、前年度実績の報告となる。令和2年度の事業進捗がどうであったかということについて、その結果報告がある。

これらを踏まえて次回以降、総合計画審議会としての本格的な審議が始まることとなる。

【西岡会長】

これをもって総合計画審議会を終了する。委員の皆さんの議事進行に対するご協力に感謝する。

8. 閉会

以 上